

環境厚生委員会

渡辺 佳正 委員長コメント

令和5年4月から富士宮聖苑の運営を担う指定管理者の指定について、審査を付託されました。過去5年間、同施設を指定管理者として運営し、全国でも同様の施設を多数手がける事業者「富士宮斎苑グループ」について、高度な技術とノウハウを有すること、不測の事態に対する全国的なバックアップ体制があること等を評価して、同事業者を今後5年間の指定管理者とすることに決定しました。

また、所管事務調査では、①「誰一人取り残さない福祉の仕組みづくり」として市が取り組んでいる重層的支援体制整備事業の進捗状況、②令和6年度からの開始に向けて準備を進めているプラスチックごみ分別回収について、多様なプラスチックごみの分別方法、市民への説明会の開き方、リサイクル事業者との協議状況などについて、当局の説明を聞きました。

プラスチックごみの分別には、市と事業者の努力だけでなく、市民の理解と協力が不可欠です。資源循環による地球温暖化対策という大切な意味を、市民にしっかり伝えていくことが求められます。



産業都市委員会

辻村 岳瑠 委員長コメント

議第70号公の施設の指定管理者の指定について(新稲子川温泉ユー・トリオ)、現在の指定管理者(事業者)の指定期間が令和4年度で終了することから、令和5年度以降の指定管理者の指定について当委員会に審査を付託されました。

審査のポイントは、ユー・トリオがこれまで以上に、利用者にとって安全で、安心して楽しめる施設として運営を任せられる事業者であるかという点です。市当局の説明によると、以前問題となったレジオネラ属菌対策をはじめ、あらゆる面で高い評価を選定委員会において得ており、決定することとしました。ユー・トリオが更なる地域の賑わいと発展に寄与する施設となることを期待します。

また、政策課題である、ふじのみやの一次産業イノベーションについては、畜産業の長年の課題であるふん尿処理について、様々な可能性を追い求め市内外の事業者を視察しました。以下視察先と内容。



▲温泉やバーベキューが楽しめる、新稲子川温泉ユー・トリオ

- ・株式会社丸文製作所(ペレットボイラーの現状、牛ふんペレットの可能性)
- ・有限会社市の瀬牧場(堆肥処理の現状と課題)
- ・株式会社リオグランデ(堆肥処理施設)
- ・JAふじ伊豆(牛ふん堆肥の市場ニーズ)